

古くから人々の生活に不可欠な水資源を蓄え、豊かな食料資源を育ててきた日本最大の湖・琵琶湖は、それを取り巻く**びわ湖の森**によって維持されてきました。**びわ湖の森**は、琵琶湖にそそぐ水を蓄える緑のダムであるとともに、数多くの種類の植物や動物を育む、豊かな自然資源を有する森です。古くから人々は、その豊かな自然資源を持続的に利用する知恵や技術を洗練し、かけがえのない**びわ湖の森**の森林文化が醸成されてきました。

ところが今、戦後の燃料革命、拡大造林政策、生活様式の急激な変化、都市遍在の生活などにより、**びわ湖の森**は急速に荒廃し、人々と野生動物との関わり合いが激減するとともに、野生動物と共生する森林文化も失われようとしています。

シンポジウムの第1部では、**びわ湖の森**のすばらしさを、そこに棲む生き物のダイナミックな生態や琵琶湖とのつながりから紹介するシリーズ「びわ湖の森の生き物」（サンライズ出版刊）の著者4人が研究成果を報告、それらをふまえ、第2部では生物多様性に富む森林との今後の関わり方について話し合います。



びわ湖の森の生き物

シンポジウム



開催日時

2009年3月14日(土)
14:00 ~ 16:00 (受付: 13:30 ~)

I 報告

テーマ **生き物がにぎわう“びわ湖の森”**

「空と森の王者 イヌワシとクマタカ」……山崎 亨

「ドングリの木はなぜイモムシ、ケムシだらけなのか？」……寺本 憲之

「森と湖を回遊する魚 ビワマス」……藤岡 康弘

「森の賢者 カモシカ」……名和 明

II パネルディスカッション

“びわ湖の森”を元気にするための意見交換および提言

パネリスト

嘉田 由紀子 (滋賀県知事)

藤井 絢子 (滋賀県環境生活協同組合理事長)

島内 厚実 (林野庁計画課課長補佐)

コーディネーター

横山 隆一 (財)日本自然保護協会常勤理事)

参加費：無料、事前申し込み不要

場所：滋賀県立琵琶湖博物館ホール
滋賀県草津市下物町1091
TEL.077-568-4811 (代)

交通のご案内

- バスでは、JR 草津駅西口から近江鉄道バス「からすま半島」行きで「琵琶湖博物館前」下車。約25分。
- タクシーでは、JR 草津駅西口、守山駅西口から約20分。
- お車では、名神高速道路「栗東IC」から約25分。



主催：びわ湖の森の生き物シンポジウム実行委員会 (高橋 春成 委員長)

共催：滋賀県立琵琶湖博物館 後援：滋賀県・(財)日本自然保護協会・(社)滋賀県獣医師会・サンライズ出版